

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



### 田辺工業

田辺工業のエース中尾大祐(17)は、串本古座との2回戦(初戦)で7安打を



力投するエースの中尾大祐(22日、和歌山市の紀三井寺球場で)

許すも完封した。監督の稲垣友輔(36)は「優しい性格だが、エースとしての自覚が出てきた。どんな相手にも自分の力が出せるようになった」と期待する。

変則的な上手投げから右打者のインコースをつくピッチングが持ち味。中学生時代は右肘を痛めて手術をし、球が遅くても打ち捕るピッチングを覚えた。「ゲームをつくり、チームに流れを呼ぶのがエース。おとしの大会のベスト4を超えたい」。春の大会では肘の痛みであまり投げられなかったが、今夏に向け「継投の竹内が踏ん張って

攻撃では、2-8で迎えた6回、打線のつながりで5点を入れ、一気に1点差に詰め寄る。7回に2点差に広げられたものの、その裏に楠本の二塁打などで追い上げ逆転。10-9で勝利した。

## 芽生えたエースの自覚

て準備してきた。

迎えた星林との3回戦、中尾は1回から相手打線につかまる。6回まで被安打11、自責点は5。「相手にのみ込まれてしまい、制球が定まらなかった。甘い球を見逃してくれなかった。7回から遊撃の竹内にマウ

ンドを託した。

「打たせても後ろが守ってくれる。次もチーム一丸となって戦う」。ベスト8に進み、目標のベスト4超えを見据える。

(敬称略)